



計画策定の背景と趣旨

スポーツには、健康の維持・増進に加え、仲間づくりや応援などを通じ地域社会を豊かにする力があります。また、障害者スポーツは共生社会の実現に向けた重要な手段として位置づけられています。

江東区では平成27年3月に「江東区スポーツ推進計画」、令和2年3月に「江東区スポーツ推進計画（第2期）」を策定し、区の魅力・強みを生かしたスポーツ施策を推進してきました。この度、区民スポーツのさらなる普及振興を図るため、「江東区スポーツ推進計画（第3期）」を策定しました。

本計画の位置づけ

本計画は、上位計画である「江東区長期計画」の下、「江東区健康増進計画」等の関連計画や国、東京都との整合を図ったうえで、区のスポーツに係る基本計画として策定します。

計画期間

本計画の計画期間は令和7年度から令和11年度までの5年間とします。

スポーツの定義

野球やサッカーなど一定のルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツや運動だけでなく、散歩や体操などの体を動かすことを意識して行う運動も「スポーツ」として広く捉えることとします。

競技スポーツ

（陸上競技、水泳、サッカー、ラグビー、
野球、自転車競技、ボッチャ など）



体を動かすことを意識して行う運動

（ウォーキング、ジョギング、ラジオ体操、
サイクリング、筋力トレーニング、散歩、
ハイキング、海水浴 など）



基本理念

「スポーツが熱いまち 江東区」 だれもがスポーツを楽しみ、 スポーツの力でみんなの元気があふれるまち

本区ではこれまで、区民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に「する」、「みる」、「ささえる」スポーツに親しむことのできる環境整備に取り組んできました。

本計画においても、前計画の理念を継承しつつ、多様化するスポーツとの関わり方や、スポーツを通じた地域の活性化などの視点を盛り込んだ、「だれもがスポーツを楽しみ、スポーツの力でみんなの元気があふれるまち」を新たなキャッチフレーズとして定めました。

区民がそれぞれのライフスタイルに応じたスポーツ活動を楽しむことで、誰もが心身ともに豊かになれる、ウェルビーイング*な地域社会の実現を目指します。

※ウェルビーイング：心身ともに健康で、社会的にも満たされた状態にあること

数値目標

本計画では、今後展開するスポーツ施策の成果や進捗状況を客観的に評価するため、基本目標ごとに数値目標を以下のとおり設定します。

数値目標	現状値	目標値（令和11年度）
 基本目標1 スポーツをする機会の創出		
週1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合	52%	70%
週1回以上スポーツ・運動を行う障害者の割合	48.8%	50%
 基本目標2 スポーツをする環境の充実		
区立スポーツ施設の利用者数	1,767,000人	2,550,000人
区立スポーツ施設の利用者満足度	90.9%	95%
 基本目標3 スポーツをみる楽しさの発信		
トップスポーツチーム区民招待観戦者数	14,026人	15,000人
 基本目標4 スポーツをささえる人材・団体の活躍促進		
スポーツボランティア登録者数	115人	260人
初級パラスポーツ指導員養成講習会年間受講者数	14人	30人

施策の体系



基本理念

基本目標

施策展開

スポーツが熱いまち 江東区

する①

01

スポーツをする
機会の創出



(1) こどものスポーツ推進

(2) 高齢者のスポーツ推進

(3) パラスポーツの推進

(4) 多様なスタイルに応じたスポーツ機会の提供

する②

02

スポーツをする
環境の充実



(1) 気軽にスポーツを楽しめる環境の充実

(2) 水辺に親しむスポーツの振興

(3) 東京2020 大会レガシーの継承

みる

03

スポーツをみる
楽しさの発信



(1) スポーツ観戦の魅力発信

(2) トップスポーツチームとの連携強化

(3) 多様な媒体を活用した情報発信・PR

つなげる

04

スポーツをささえる
人材・団体の活躍促進



(1) スポーツをささえる人材の育成・活躍推進

(2) 地域スポーツ団体等との連携拡充

(3) 競技力向上の支援

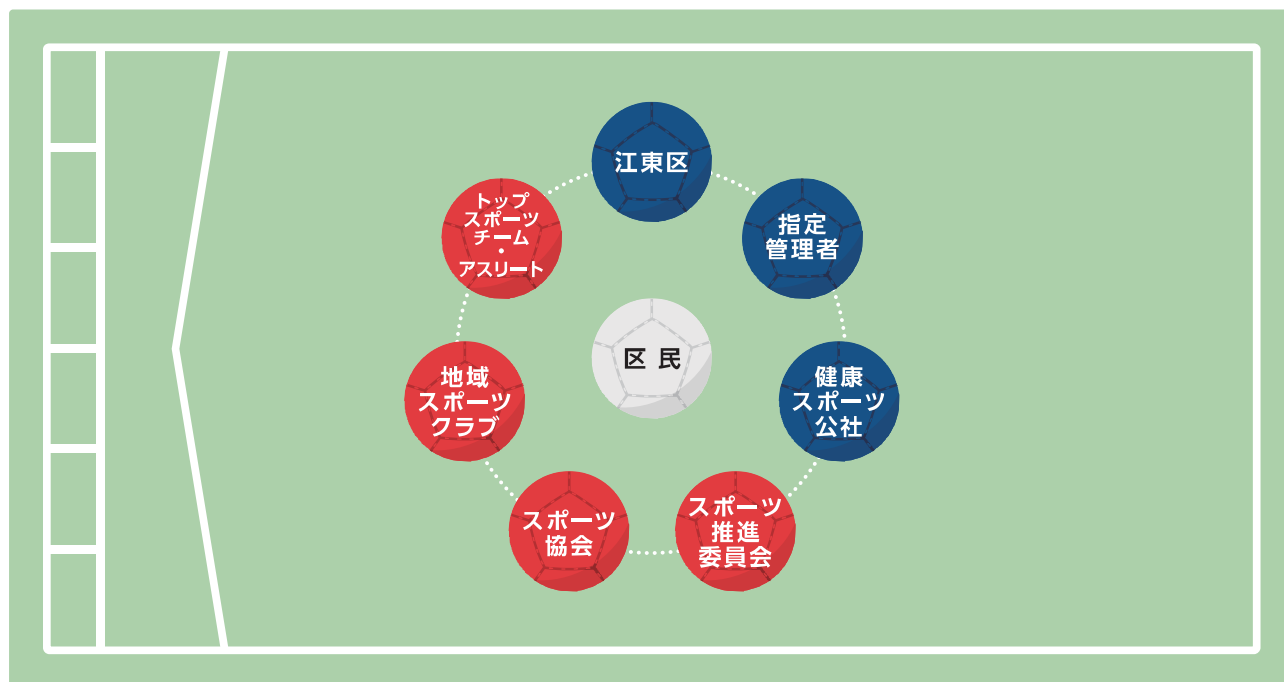


主な取組

- ファミリースポーツチャレンジ ● ジュニアスケートボード大会 ● こどもスポーツデー
- 小学生スーパードッジボール大会 ● 少年運動広場の提供 ● 児童館・こどもプラザの運営
- 福祉会館・ふれあいセンター・グランチャ東雲の運営 ● KOTO 生き粋体操 ● シニア体操教室
- 転ばぬ先のトレーニング ● 全国健康福祉祭(ねんりんピック)
- ボッチャ交流大会 ● パラスポーツ体験会 ● 障害者に配慮した施設運営
- みんなでスポーツフェスタこうとう ● ユニバーサルカヌー体験会 ● 知的障害者のスポーツ活動の支援
- 江東シーサイドマラソン大会 ● スポーツ教室 ● 江東スポーツデー
- 親子で楽しめるスポーツ教室 ● こうとう健康チャレンジ
- 区立スポーツ施設の管理・運営 ● 区立スポーツ施設の改修 ● 学校施設の開放
- 区立中学校体育館の夜間開放 ● 区立公園におけるスポーツ広場の提供
- こどもカヌー大会 ● インクルーシブ・セーリング体験会 若洲 ● 区立中学校カヌー部
- 区立小中学校セーリング部 ● 竪川河川敷公園カヌー・カヤック場の運営 ● 大学と連携したカヌー教室の実施
- こどもカヌー大会【再掲】 ● 区民スポーツ大会(水泳) ● KOTO☆ボッチャフレンドリーマッチ
- 夢の島スケートボードパークの運営 ● パラリンピック競技体験会
- 東京2025 デフリンピックの周知・啓発、障害理解の促進 ● 国際大会等の周知・啓発
- 区内スポーツ施設を使用したスポーツイベントの周知
- トップスポーツチームの試合観戦招待 ● トップスポーツチームによる地域貢献
- トップスポーツチームとの多分野での連携
- こうとう区報・区HP・区公式SNSによる情報発信 ● フィットこうとうによる情報発信
- 各スポーツ施設の公式SNSを活用した情報提供の充実 ● デジタルサイネージによる情報発信 ● シティプロモーションの推進
- パラスポーツ指導員養成講習会 ● スポーツボランティア制度の充実 ● 指導者養成講習会
- 部活動指導員の活用
- スポーツ推進委員会との連携 ● スポーツ協会との連携 ● 地域スポーツクラブとの連携
- KOTO スポーツフィールド ● 区立中学校部活動の地域移行
- 区民スポーツ大会の開催 ● 東京都スポーツ大会への選手派遣 ● ジュニアカヌー選手の育成
- パラリンピックカヌー選手の輩出 ● 功労者の表彰 ● トップアスリートによる指導

計画の推進体制

本計画に定める基本理念やそれぞれの役割分担を、区をはじめとしたスポーツを支える主体が共有し、区民を中心としたネットワークを構築しながら、区民スポーツの普及振興に取り組みます。



年齢・性別・障害の有無に関わらず、多様な形でスポーツに主体的に親しむことが期待されます。



誰もが安全・快適に施設を利用できるよう、区立スポーツ施設の管理運営、多様なニーズに沿った事業を展開します。



地域のスポーツコーディネーターとして、区主催の行事や委員会独自事業において、スポーツの指導・普及を行います。



地域密着のスポーツクラブとして、年齢・性別・障害の有無に関わらず、区民が気軽に参加できる機会を提供します。



施策の進捗管理、関係者との連絡調整、地域スポーツを支える人材・団体の活躍促進、区スポーツ施設の整備を行います。



区における生涯スポーツの中核を担う団体として、区民の健康と生きがいをつくる、地域に根ざした事業を展開します。



区におけるスポーツ並びにレクリエーション活動の振興、区民の体力向上やスポーツ人口の拡大に取り組みます。



「みる」「ささえる」人口の拡大や、まちの魅力向上に寄与し、チーム・選手の活躍による気運醸成が期待されます。

区内の主なスポーツ施設



■ 区立スポーツ施設 ■ スポーツが楽しめる主な公園・スポーツ施設



体育館



野球・ソフトボール



テニス



プール



サッカー・フットサル



陸上



ゴルフ・ゲートボール



ラグビー



アーチェリー



アーバンスポーツ

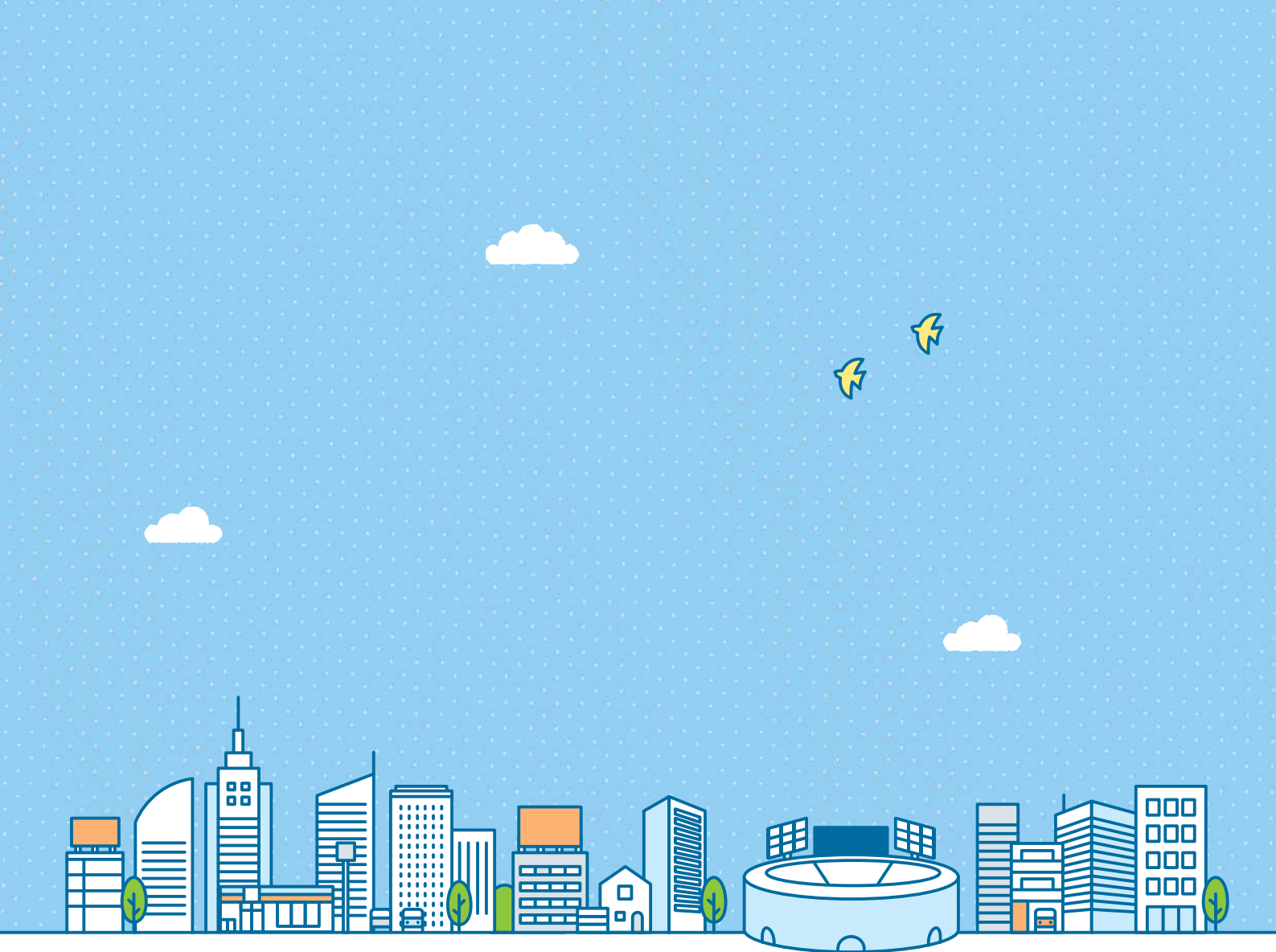


ボート・カヌー・カヤック・ヨット



アイススケート

※複合施設については主な施設2つを掲載しています。



第3期

江東区 スポーツ推進計画

令和7年度～令和11年度

概要版

令和7年3月 印刷物登録番号(6)75号
発行：江東区地域振興部スポーツ振興課